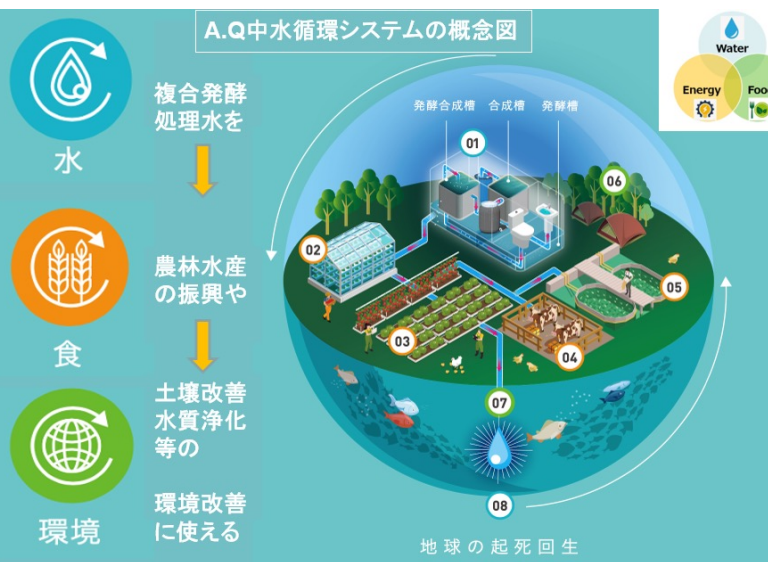


国内の中山間地域において、老朽化する上下水道インフラの維持管理・更新が大きな課題になっている中、複合発酵技術の活用によりオフグリッドで成立するA.Q中水循環システムは、安価で環境に優しく持続可能、災害にも柔軟に対応できる小規模自立分散型、フェーズフリーなインフラシステムです。

連絡先
 株式会社長大 海外事業本部
 海外営業統轄部 水インフラ事業推進室
 永野、中溪
 nakatani-k@chodai.co.jp

- 悪臭なし
- 100%リサイクル
- 大腸菌ゼロ
- 汲取不要



A.Q循環型トイレ

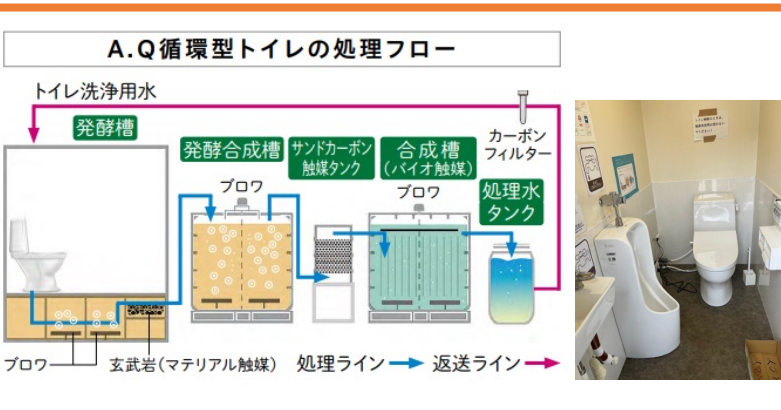
施設やネットワークを使わない



発明名称：リサイクル型バイオトイレ
 特許番号：特許第7258836号
 技術名称：中水道循環型バイオトイレ
 NETIS登録番号：CB-230009-A



移動可能
 ジャパンレゾリエンスアワード2024 最優秀賞受賞



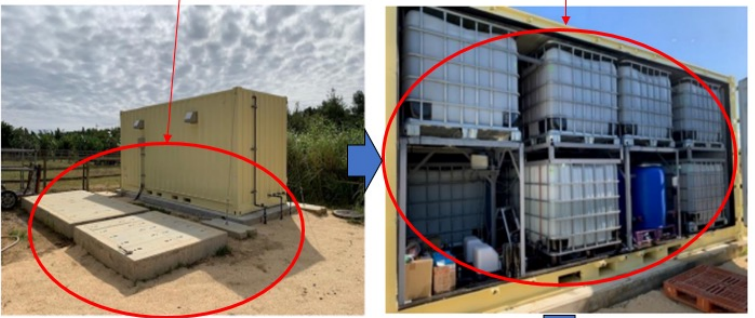
合併浄化槽を活用したA.Q中水循環システム

施設やネットワークを使わない 収入を増やす

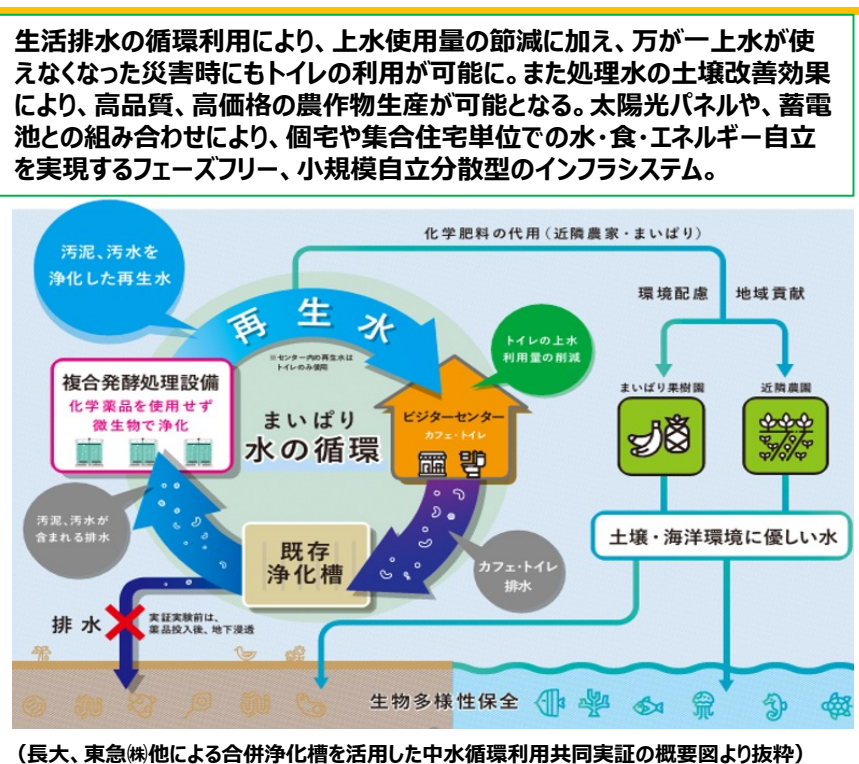


合併浄化槽活用タイプの設備イメージ (中水のトイレ循環水や農業用水としての利用)

- ① 地下埋設の既存の合併浄化槽内の菌叢を複合発酵化させて一次処理
- ② 20ftコンテナタイプの二次処理設備を設置、中水利用が可能なレベルまで浄化
- ③ 処理水をトイレ洗浄水や農園散布水として利用



無農薬の高付加価値な農産物の生産販売により地域経済の活性化に貢献



集落排水処理施設を活用したA.Q中水循環システム

量を維持して費用を削減する 収入を増やす



計画処理人口 2,510人
 終末処理場能力 678m³/日
 水処理方式 JARUSXIV型
 実際に設備導入した集落排水処理場の規模



無農薬の高付加価値な農産物の生産販売により地域経済の活性化に貢献

自治体での導入事例：
 ・集落排水処理場に複合発酵設備を増設することで汚泥を大幅に軽減、汚泥処理コスト削減分で、増設費用を約4.2年で回収。
 ・近隣の複数の農家が処理水を農業（お米、野菜、花卉栽培等）に活用し、農作物の高品質、高収入化を実現。